

園長だより

No.9

「背中を見て学ぶ」

園長 小林 淳一

今月に入り、教育実習生が8人来ました。それぞれ、「幼稚園の先生」を目指しています。園では「子どもを見つめる」ことから始めましょう、とっています。実習生は、どのようなことを見つめているのか、紹介します。

★

昼食時にうめ組のH君が箸ケースを落として拾っていた。それを見ていたきく組のちAちゃんは、H君が頭をテーブルにぶつけてしまわぬように、「そっと」テーブルに手を添えた。

このような行動が、とっさに出るようなさりげない気遣いを5歳児でもできるというのが、すごく驚き、感動した。これは、保育者や親が教えてもできるようなことではないと思うので、Aちゃんは普段から優しく周りが見える子なのだろうと感じた。

私のコメント。

「これは、保育者や親が教えてもできるようなことではないと思う」

とありますが、Aちゃんは、親や保育者など周りの人たちの行動をよく見ているのだと思います。だから、自然にできたのだと思います。「背中を見て学ぶ」ということです。

★

父の日の「ちぎり絵」制作の時、Hちゃんが、周りの子どもたちが落とした紙を拾い集める場面があった。紙を捨てた後「せんせい、ゆかをみて。みんながおとしちゃたかみをふんじゃってあたまうって、ちが、でちゃったらあぶないもんね。りさせんせいは、あめですべっちゃってって、いってたけど、これもすべってあぶないから、ぜんぶひろったの」と教えてくれた。「拾ってくれたの？とってもうれしい。ありがとう。すべっちゃったら危ないもんね」と言葉をかけるとうれしそうに頷き「いえでも、おてっだいしているの。いすもかたづけてあげるね。あぶないから。」と使われていないイスも片付けてくれた。

私のコメント

「拾ってくれたの？とってもうれしい。ありがとう。すべっちゃったら危ないもんね」

”アイ（わたし）メッセージとユー（あなた）メッセージ”

アドラーという心理学者の言葉です。

自分の感じている気持ちを相手に伝える言葉をアイ（わたし）メッセージといいます。逆に相手に対してほめたり、しかったりと評価するメッセージをユー（あなた）メッセージといいます。

ユー・メッセージが相手をお評価するメッセージということは、上下のメッセージだということです。対等な立場ではなく上から相手をお評価するメッセージとなります。受け取った側としても自分の自尊心を低くしてしまうやっかいなメッセージになるのです。

自分の気持ちや感謝の言葉を伝えていくことをアイ・メッセージといいます。アイ・メッセージを伝えることで対等なコミュニケーションとなります。また、人には他者貢献をしたいという本質的な欲求があります。ありがとうという言葉は人に貢献できたという気持ちを芽生えさせてくれる魔法の言葉です。

アドラー心理学ではありがとうのように人に感謝をすることを「勇気づけ」と呼んでいます。人に貢献できたという喜びを与えることこそが子供を自発的に育てる子育てだと言えます。

